

## 2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	403
担 当 教 員	大原 浩貴	実務経験と その関連資格	島根大学医学部病態病理学教室にて研究・教育に従事。博士(医科学)			
《授業科目における学習内容》						
生態機能学で学んだ「人体に構造と機能」に、何が生じて患者が苦しんでいるのか、「疾病の成り立ち」を理解する基礎である。科学的根拠に基づいた臨床工学を实践できる基礎的能力の根幹を成す科目である。病態総論では、用語の理解、そして構造の異常、機能の異常を学ぶ。症候論と各疾患の症状・診断・治療を学ぶために、まず臓器や細胞の変化を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門基礎分野 1 解剖生理学 医学書院 ・系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 3 微生物学 医学書院 ・系統看護学講座 専門分野 6 成人看護学 循環器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 11 成人看護学 アレルギー、膠原病、感染症 医学書院						
《授業外における学習方法》						
講義のノートまとめ(図も記載)、プリント課題						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	序論について理解できえ、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題	いずれも毎回提出
		各コマに おける 授業予定	序論			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	細胞傷害・修復について理解でき、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題	いずれも毎回提出
		各コマに おける 授業予定	細胞傷害・修復			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	代謝障害①について理解でき、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題	いずれも毎回提出
		各コマに おける 授業予定	代謝障害①			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	代謝障害②について理解でき、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題	いずれも毎回提出
		各コマに おける 授業予定	代謝障害②			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	循環障害①について理解でき、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題	いずれも毎回提出
		各コマに おける 授業予定	循環障害①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環障害②について理解でき、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	循環障害②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症について理解でき、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	炎症		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫①について理解でき、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	免疫①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫②について理解でき、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	免疫②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症について理解でき、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	感染症		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天異常・遺伝性疾患について理解でき、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	先天異常・遺伝性疾患		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍①について理解でき、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	腫瘍①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍②について理解でき、説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	腫瘍②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめにより自分の弱点を見つけれる	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめにより自分の弱点を見つけれる	系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書 院	・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題  いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	まとめ		